

「これぞ！」勝負

家づくりは木材選びから

兵庫・加古川流域森林資源活用検討協議会

兵庫県丹波市の加古川流域

森林資源活用検討協議会は、

03年から国産材の活用促進を

進めようと「家づくりで森づく

くり」をキャッチフレーズに、

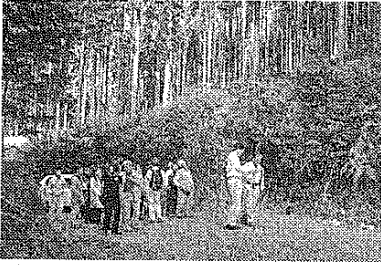
森林から消費者自身が立ち木

を選んで購入する「サウンド

・ウッズ」を進めている。

同協議会は、森林所有者と

消費者の橋渡し役。両者が直



消費者や森林所有者、建築家などで森林見学ツアー

消費者が立ち木を見て購入

接取引をすることで所有者の収益を増やし、森林保全や安定した木材生産が行えるようにするのが狙いだ。

販売価格は、立ち木の二酸化炭素吸収量を基に決定する独自の方法。スギは1立方尺当たり7千358円、ヒノキは同9291円。

現在までこのシステムを利用したのは15組。需要は徐々に増えているという。消費者からは「家造りを任せきりではなく、自分で木を選ぶことで満足でき、安心」という声が寄せられている。

この取り組みは、06年の「立ち上がる農山漁村」に選ばれた。同協議会の安田哲也代表は、「消費者の方々に多くの情報や建材を提供できるよう、さらに体制を整えていきたく」と話す。

(同協議会) 0799518
8・066666